

科目名	技術者倫理		英文表記	Engineering Ethics		2013/2/28			
科目コード	5005								
教員名: 荻野正、杉本和英、田中 博 技術職員名:						作成			
対象学科/専攻コース			学年	必・選	履修・学修	単位数	授業形態		
全学科			5年	必	履修	1単位	講義		
科目目標	社会と技術者のかかわりと、社会における技術者の役割について理解することを目標とする。								
総合評価	評価は、毎授業時に実施するレポート・ワークの合計によって行い、60%以上を合格とする。中間・期末試験は行わない。								
科目目標達成度とJABEE目標との対応	科目達成度目標(対応するJABEE教育目標)			達成度目標の評価方法			目標割合		
	①	社会に対する技術者の責任・義務について説明できる。(機械・情報・メディアC-2、生物C-1)		⇒	提出されたレポートから、社会に対する技術者の責任・義務について理解しているかを評価する。		60%		
	②	技術者としての自覚をもって、倫理的問題を多面から分析し、複数の可能な解決策を考えることができる。(機械・情報・メディアC-2、生物C-1)		⇒	提出されたレポートから倫理問題の分析力、解決能力を評価する。		40%		
	③			⇒					
本科・専攻科教育目標	1	2	3	4	JABEEプログラム名称	機械システム工学	情報通信システム工学	メディア情報工学	生物資源工学
	○			◎	JABEEプログラム教育目標	C-2	C-2	C-2	C-1
評価方法と評価項目および関連目標に対する評価割合									
	目標との関連	定期試験	小テスト	レポート	その他(演習課題・発表・実技・成果物等)	総合評価	セルフチェック		
評価項目		0	0	50	50	100			
基礎的理解	①②			30	30	60			
応用力(実践・専門・融合)	①②			20	20	40			
社会性(プレゼン・コミュニケーション・PBL)						0			
主体的・継続的学修意欲						0			
授業概要、方針、履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回から第7回までは、技術者倫理の基本問題を取り扱い、第8回から第15回までは、事例研究として、各学科に関連した問題を取り上げる。 ・現代倫理学の知見を参考にしつつ、技術者倫理の基礎についての知識を与える。 ・ビデオなどの教材を使って現実に起こっている現象を見ながら、実践的問題に取り組む力を養成する。 ・成績は、講義ごとに行うワークやレポートなどにより評価するので、やむをえない場合を除いて、講義に出席すること。 								
教科書・教材	<ul style="list-style-type: none"> ・参考書:『技術者倫理の現在』(勁草書房)、『技術者倫理の世界』(森北出版)、日本の企業倫理(白桃書房)、『技術とコンプライアンスー規制法令と倫理のガイドライン』(丸善)、C・ウィットベック『技術倫理1』(みすず書房) ・パワーポイント、その他資料 								

授 業 計 画					
週	授 業 項 目	時間	授 業 内 容	自学自習 (予習・復習)内容	セルフ チェッ ク
1	導入	2	技術者の責任とは何か	関連項目に対する予習復習	
2	製造者の責任	2	製造者責任とは何か	関連項目に対する予習復習	
3	内部告発	2	内部告発とは何か	関連項目に対する予習復習	
4	組織ジレンマ	2	組織で働く技術者のジレンマについて考える	関連項目に対する予習復習	
5	環境の問題	2	技術者は環境問題とどう関わっているか	関連項目に対する予習復習	
6	グローバルな視野	2	技術者にとってグローバルな視野とは何か	関連項目に対する予習復習	
7	品質保証	2	品質保証と企業責任について考える	関連項目に対する予習復習	
8	機械系における事例研究①	2	機械技術分野での事例紹介	関連項目に対する予習復習	
9	機械系における事例研究②	2			
10	メディア系における事例研究①	2	論文捏造事例に基いた技術者倫理について考える		
11	メディア系における事例研究②	2			
12	情報通信系における事例研究①	2	開発過程での実例に基づいて倫理について考える	ソフトウェア開発管理に関する文献を各自探して読んでおくこと	
13	情報通信系における事例研究②	2	〃	〃	
14	生物系における事例研究①	2	生命科学分野での事例を紹介し、技術者倫理について考える	ノーベル賞の決闘	
15	生物系における事例研究②	2	食品製造分野での事例を紹介し、技術者倫理について考える	雪印中毒事件	
期末	期末試験				
16					
17					
18					
19					
20					
21					
22					
23	後期中間試験(行事予定で週変更可)				
24					
25					
26					
27					
28					
29					
30					
期末	期末試験				
学習時間合計		30	実時間	22.5	
自学自習(予習・復習)内容(学修単位における自学自習時間の保証)				標準的所用時間(試行)	
①	関連項目に関する予習と復習			各1時間×15回	
②					
③					
備考欄					
(共通記述) ・ この科目はJABEE対応科目である。 その他必要事項は各コースで決める。 (各科目個別記述) ・ この科目の主たる関連科目は特許法・法学(5年) その他必要事項は各コースで決める。					

学習時間は、実時間ではなく単位時間で記入する。(45分=1、90分=2)